



《聚落》[山形県東田川郡朝日村田麦侯]1966年

* []内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

向井潤吉1960's

民家遍歴

それでも私は飽きもせず、
懲りもせず心忙しく、
好きな所へは何度でも、
未見の場所には
新鮮な希望をもって訪ねて行く。

2017年
8月5日[土] — 12月3日[日]

開館時間:10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日:毎週月曜日

ただし、9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館、
9月19日(火)、10月10日(火)は休館

観覧料:一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

* 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料

介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください

* ()内は20名以上の団体料金

* 小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷美術館分館

世田谷区制85周年

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



《森かげの家》[長野県上水内郡戸隠村]1961年



《北端の村》[青森県下北郡東通村尻屋、尻屋岬入口]1962年



《山間草炎》[山形県東田川郡朝日村田麦俣]1962年



《白川郷》[岐阜県大野郡白川村荻町]1963年



《大原冬に入る》[京都府京都市左京区大原]1966年



《ふもとの老樹》[山梨県北巨摩郡小淵沢町]1969年

向井潤吉(1901-1995)は、10代半ばより、京都の関西美術院で洋画を学び、戦前には単身渡欧して研鑽を積み、戦中の従軍画家の経験を経て、戦後より一貫して全国各地の民家を描き続けた画家です。平成29年度は、その画業を3期にわけ、第2期にあたる本展では、1960年代の作品を中心にご紹介します。

「私の民家を扱う気持ちにも徐々と変移があった。むろん草屋根を主とする民家が興味と採集の中心目標だが、あまりに家のみに力点を置くと、何か設計図みたいな窮屈さと味気ない説明になりやすいので、むしろ家を大切にしながらも、その家を取り囲む風土風景を主とするようになってきたのである。」

向井潤吉「民家遍歴」『中央公論』1968年12月号

この言葉のとおり、向井潤吉にとって1960年代は、民家を見つめ、これを描く姿勢を確立していく時期だったことがわかります。いっぽう、日本の社会は新幹線、高速道路などの交通網が整備され、大都市への人口流入が続き、さらに山間部ではダム建設などの影響から、集落そのものが姿を消していきました。各地の風土と暮らしに育まれてきた民家は徐々に姿を少なくし、向井は焦燥感をいだきながら、絵具箱を背負って列島を奔走したのです。

つねに現場にイーゼルを立て、民家と向き合う“現場主義”を貫いた向井潤吉が、民家を描くことに半生をささげようと心に定め、日本の風景が変わりゆくことに一抹の寂しさを心にいだきながらも自身の画業を決定づけていったのが、この1960年代だったのでしょう。

本展では、1959年から1960年にかけてヨーロッパへ、さらに1966年に中国に旅行した際に描いた作品もご紹介いたします。

向井潤吉 1960's

民家遍歴

世田谷美術館分館
ギャラリートーク

担当学芸員による作品解説を行います。
ぜひご参加ください。

9月16日(土)11:00～ 向井潤吉アトリエ館

10月21日(土)11:00～ 清川泰次記念ギャラリー

11月18日(土)11:00～ 宮本三郎記念美術館

* いずれも20分程度、参加費無料(観覧料別途)、事前申込不要

イベント
情報

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkiichi-annex.jp/>



©宮本和義

【交通案内】

東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分／東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分／東急バス(浜05) 渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分／東急バス(等11) 祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分／東急バス(等13) 梅ヶ丘駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分／東急バス(浜11) 渋谷駅～田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分／東急バス(浜12) 渋谷駅～二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL:03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



©宮本和義

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



©宮本和義

◆ 宮本三郎の顔・貌(かお) FACES in Saburo Miyamoto's Art
2017年8月5日(土)～12月3日(日)

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011(代表)

【展覧会のご案内】

TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
* 詳細はホームページなどでご確認ください。

世田谷美術館休館のお知らせ

世田谷美術館(世田谷区砧公園1-2)は、改修工事のため
2017年7月3日(月)～2018年1月12日(金)の間、休館いたします。

予告 ポストン美術館 パリジェンヌ展

時代を映す女性たち
2018年1月13日(土)～4月1日(日)

